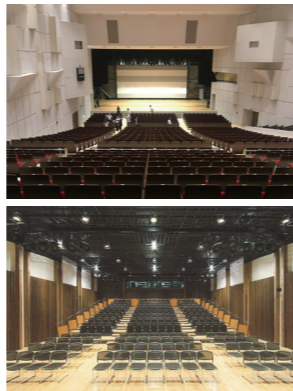


▲休館期間は概ね15カ月程度を見込み、具体的な期間は設計を行う中で検討します。休館中は代替施設（豊田文化センター、公民館、市民体育館など）をご利用ください。

▼広く環境の整った使いやすい舞台に再生。演奏会やレセプションにも使用できる多目的ホールを新設



▲ミニコンサートやギャラリーなど、多様な使い方ができる交流スペースを新設



リノベーションの内容は、コンセプトを踏まえるとともに、現市民会館の課題解消や新たな機能を追加するため、次の事項を基本とし、設計を行う中で検討します。設計は市民の皆さんや利用される方々のご意見をお聞きしながら進めます。

■リノベーションにおいて検討する内容

耐震補強、外装改修、内装改修、バリアフリー化、ホール客席の入れ替え、親子鑑賞室の新設、ホール内の音響改善、トイレを1階へ新設、舞台の拡張、舞台の裏動線の確保、楽屋を1階へ新設、機械室棟の解体、空調設備の改修、照明・舞台設備の改修、交流スペースの新設、多目的ホールの新設、外構改修など

新市民会館を新築する場合は有利な地方債などの財源がなく、現市民会館をリノベーションにより長寿命化する場合には、交付税措置のある有利な地方債「公共施設等適正管理推進事業債」を活用することができるため、新築と比べ、基金の充当と市の一般財源を大きく抑えることができます。

中野市市民会館整備方針を策定しました

コンセプト1



ここで観る聴く

ホールの客席や音響などを整え、音楽や演劇など多様な文化芸術に触れる場を創造します。

「ここじゃ……」を「ここで！」に変えるリノベーション

コンセプト2



ここで歌う奏でる

舞台環境などを整えるとともに、小規模な催しでも使用できる多目的ホールなどを設けることにより、多様な表現の場を創造します。

コンセプト3



ここでつながる集まる

表現活動もできる交流スペースなどを設けることにより、多様な文化芸術や人々が集まりつなげる場を創造します。

市民説明会・パブリックコメントでのご意見



Q1 音楽を楽しむことを一番に考えて『あのホールで演奏したい』と言える場所にしてほしいです。音響や舞台などは、専門家の意見を聞きながら進めてほしい。

A1 市民会館は、演奏会のほか、式典や講演会などで多くの方が利用される施設ですので、音楽のみに特化したものは考えておりません。音響面などは設計の中で専門家のご意見をお聞きしながら進めていくこととしています。

Q2 リノベーションにあたっては、市民による検討委員会を立ち上げて、意見を聞く場を設けてほしい。

A2 市民の皆さんや、利用される方々からのご意見につきましては、説明会やワークショップなど、より広くご意見を聞く場を設けたいと考えております。

Q3 ホールの座席数は、いくつになるか。駐車場は市役所と併用しても台数として少ないのではないかと？

A3 現在、客席1,000席ほどありますが、幅の広い座席の採用や舞台の拡張により、700～800席程度の座席数を想定しています。駐車場は、少しでも駐車台数が増えるように設計の中で検討し、中央公民館などの近隣施設と連携に努めます。

Q4 リノベーション事業費に21億円をかけて、30年延命に価値があるか。また積算の根拠は？

A4 リノベーション後は、30年以上の使用を想定しています。より長期にわたり使用することで、さらに財政面で有利であると考えています。リノベーション事業費は、2019年度劣化状況等調査を委託した中で、耐震補強や現市民会館の課題解消、新たに追加する機能に必要な費用を積み上げて算出したものです。

Q5 リノベーションの内容はどのようなもので、今後、事業費の増額はありますか？

A5 耐震補強、内外装改修、バリアフリー化、ホール客席の入れ替え、音響や舞台設備の改修のほか、新たな機能として交流スペースや多目的ホールの新設などを検討しています。テーマやコンセプトを踏まえながら21億円以内で実施することとしています。

※このほか、たくさんのご意見をいただきました。市公式ホームページで、このほかのご意見を公開していますので、ご覧ください。



新築とリノベーションの財源比較

